

令和元年度

山口県森林・林業統計要覧



山口県農林水産部森林企画課

山口県のシンボル

県木 アカマツ

県内に広く分布する山口県の代表的な樹種

(県木審査委員会選定 昭和41年9月14日指定)

県花 夏みかんの花

日本では山口県が原産地、芳香あり。

(NHK選定 昭和29年3月22日発表)

県鳥 ナベツル

周南市八代に飛来、10～3月

(鳥獣審議会選定 昭和39年10月13日指定)

県獣 ホンシュウジカ

県北西部を中心に生息

(鳥獣審議会選定 昭和39年10月13日指定)

県の魚 フク

県内で水揚げされる魚の代表種

(県の魚選定委員会選定 平成元年8月26日指定)

県のキノコ ベニヤマタケ(地方名:アカナバ)

秋吉台周辺で2～5月に発生、食用

(山口なばの会選定 平成10年1月15日発表)

利 用 者 の た め に

この統計要覧は、山口県の森林・林業の現況と令和元年度の林業関係諸施策の実績を農林水産部森林企画課、森林整備課、ぶちうまやまぐち推進課、農林水産政策課、環境生活部自然保護課及び農林総合技術センター林業技術部の業務資料をもとに作成しております。

さらに詳細な数値が必要な場合又は疑義のある場合には下記の資料作成部署又は森林企画課林業企画班にお問い合わせください。

各統計の単位は、原則として表右肩に記載してあります。

表中の符号は次のとおりです。

「 0 」・・・・・・掲載単位以下

「 - 」・・・・・・該当なし

数字の単位未満は、四捨五入を原則としています。従いまして、総数と内訳の計が一致しない場合があります。

山口県森林・林業の概要・・・・・・・・・・森林企画課林業企画班 (083-933-3464)

統計表

森林の現況・・・・・・・・・・森林企画課林業企画班 (083-933-3464)

森林計画・・・・・・・・・・〃

森林整備地域活動支援交付金事業・・・・・・〃

やまぐち森林づくり県民税関連事業・・・・・・〃

森林企画課事業体支援班 (083-933-3460)

森林整備課造林保護班 (083-933-3485)

造林・・・・・・・・・・〃

林産物生産・・・・・・・・・・森林企画課林業企画班 (083-933-3464)

森林企画課事業体支援班 (083-933-3460)

林業・木材産業施設等整備・・・・・・・・・・ぶちうまやまぐち推進課販路開拓推進班 (083-933-3395)

森林企画課林業企画班 (083-933-3464)

森林組合・・・・・・・・・・農林水産政策課団体指導班 (083-933-3520)

林業金融・・・・・・・・・・ぶちうまやまぐち推進課 市場・金融班 (083-933-3360)

森林被害・・・・・・・・・・森林整備課造林保護班 (083-933-3485)

林業普及・・・・・・・・・・森林企画課事業体支援班 (083-933-3460)

林道・・・・・・・・・・森林整備課治山林道班 (083-933-3491)

治山・・・・・・・・・・〃

保安林・・・・・・・・・・森林整備課林地保全班 (083-933-3480)

林地開発・・・・・・・・・・〃

自然保護・・・・・・・・・・自然保護課自然・野生生物保護班 (083-933-3050)

鳥獣保護・・・・・・・・・・〃

自然公園・・・・・・・・・・自然保護課自然共生推進班 (083-933-3060)

研究・研修等・・・・・・・・・・農林総合技術センター林業技術部 (083-928-0131)

林務関係行政機構・・・・・・・・・・森林企画課林業振興班 (083-933-3450)

令和元年度決算額・・・・・・・・・・〃

目

次

山口県森林・林業の概要

1	森林資源の現況	1
(1)	土地利用	1
(2)	経営形態別森林面積	1
(3)	民有林の樹種別面積と蓄積	2
(4)	森林面積と蓄積の推移	3
(5)	人工林(スギ・ヒノキ)の齢級構成	5
2	造林等	6
(1)	造林	6
(2)	育成複層林の整備	6
(3)	間伐	7
3	林産物生産	8
(1)	木材生産	8
(2)	森林バイオマス	9
(3)	特用林産	9
4	森林組合	11
(1)	森林組合の概況	11
(2)	木材取扱量	11
(3)	森林造成事業	12
(4)	森林組合作業班	12
5	森林被害	13
(1)	松くい虫被害	13
(2)	松くい虫防除事業の推移	13
6	林業普及	14
(1)	林業士及び林業作業士の認定状況	14
(2)	主要林業機械の保有状況	14
7	林道等	14
(1)	林道	14
(2)	森林作業道	14
8	治山	15
(1)	治山事業の推移	15
(2)	生活環境保全林	15
9	保安林	16
10	その他	17
(1)	地域森林計画樹立状況	17
(2)	保有規模別林家数	17
(3)	森林経営計画の認定状況	17
	森林計画区、農林事務所管轄区域図	18
	自然環境保全施設等整備状況図	19

統計表

森林の現況

1	市町別土地利用状況及び林野率	21
2	市町別経営形態別森林面積	22
3	市町別樹種別民有林面積及び蓄積	24
4	森林資源構成表	26
(1)	総計	26
(2)	人工林	28
(3)	天然林	30
5	市町別地域森林計画対象森林の異動状況	32

森林計画

1	森林経営計画の認定状況	33
2	市町別樹種別標準伐期齢	34

森林整備地域活動支援交付金事業

1	交付実績	35
(1)	交付実績の推移	35
(2)	市町別交付実績	35

やまぐち森林づくり県民税関連事業

1	事業概要	36
2	事業実績	36
(1)	森林活力再生事業市町別実績	36
(2)	地域が育む豊かな森林づくり推進事業市町別実績	38
(3)	地域森林づくり活動強化対策事業実績	39

造林

1	育成単層林整備	41
(1)	人工造林	41
ア	樹種別民有林人工造林面積の推移	41
イ	資金別人工造林面積の推移	41
ウ	施行主体別造林種別人工造林面積	41
エ	市町別造林実績	42
オ	施行主体別人工造林面積	44
カ	被害跡地造林実績	45
キ	松くい虫被害跡地復旧造林	46
(2)	保育	48
ア	補助事業実績の推移	48
イ	市町別補助事業実績	48
2	育成複層林整備	50
(1)	育成複層林整備(人工林型)	50
ア	資金別造林面積の推移	50
イ	市町別補助事業実績	50
(2)	育成複層林整備(天然林改良型)	51

ア	資金別造林面積の推移	51
イ	市町別補助事業実績	51
(3)	保育	52
	市町別補助事業実績	52
3	森林作業道	54
(1)	事業別延長の推移	54
(2)	市町別事業別内訳	54
4	種苗	55
(1)	県営種子採取量の推移	55
(2)	樹種別山行苗木の生産量	55
(3)	樹種別山行苗木の所要量	55
(4)	経営規模別生産者数及び経営面積の推移	55
5	間伐	56
(1)	間伐実績の推移	56
(2)	市町別間伐実績	56
	林産物生産	
1	林業産出額及び生産林業所得(山口県全体)	57
2	木材	57
(1)	木材の需給	57
ア	材種別素材供給量の推移	57
イ	用途別素材生産量の推移	57
ウ	市町別素材生産量	58
エ	樹種別素材生産量の推移	59
オ	用途別素材入荷量の推移	59
カ	県別素材移入量	60
キ	県別素材移出量	60
ク	移入県別、国産材・外材別製材品移入量	60
ケ	移出県別、国産材・外材別製材品移出量	60
(2)	木材関連産業	61
ア	製材用動力の出力階層別工場数の推移	61
イ	製材工場実態の推移	61
ウ	国産材・外材製材工場数及び素材入荷量の推移	61
エ	製材用素材の国産材・外材別入荷量の推移	62
オ	製材工場の製材品出荷量の推移	62
カ	木材チップ工場数及び木材チップ生産量	63
キ	木材市売市場の現況	64
(3)	木材の市況	65
(4)	森林バイオマスエネルギー利用量	66
3	特用林産物	67
(1)	特用林産物生産量の推移	67
(2)	しいたけ	68
(3)	特用林産物の市況	68
(4)	市町別特用林産物生産量	70

林業・木材産業施設等整備	
(1) 事業の推移	72
(2) 事業実績	73
ア 事業実績	73
イ 市町又は地域別実績	73
森林組合	
1 森林組合の現況	74
(1) 森林組合連合会	74
ア 機構	74
イ 会員及び出資金の推移	74
ウ 主要事業取扱量の推移	74
(2) 森林組合	75
ア 経営体制の推移	75
イ 主要経済事業の推移	76
ウ 財務状況の推移	77
エ 作業班員の推移	77
オ 森林組合の推移	78
カ 市町別森林組合の現況	78
(3) 生産森林組合	80
ア 生産森林組合の推移	80
イ 市町別生産森林組合の現況	80
林業金融	
1 農林漁業信用基金出資及び債務保証額の推移	82
(1) 出資	82
(2) 債務保証額	82
2 (株)日本政策金融公庫資金融資実績の推移(林業関係)	82
3 林業・木材産業改善資金	82
森林被害	
1 森林保険損害てん補状況の推移	83
2 森林火災被害状況の推移	84
3 主な森林病虫獣害の被害状況の推移	84
4 市町別松くい虫防除状況(補助対象事業のみ)	85
5 シカ被害対策状況の推移	86
6 市町別シカ被害対策状況(補助対象事業のみ)	86
林業普及	
1 林業普及指導員の配置状況	88
2 林業普及指導員の活動状況	88
(1) 手段別活動状況	88
(2) 科目別活動状況	88
3 山村中堅青年の養成状況	89
(1) 林業教室	89
(2) 山村青年グループ活動促進対策	89

(3) 林業グループ数及び会員数	89
(4) 指導林業士及び青年林業士の認定状況	89
4 林業機械器具現況表	90
林道	
1 林道の現況	91
(1) 林道の現況	91
(2) 市町別林道の現況	92
2 林道事業の推移	96
3 事業の経過	98
(1) 林道災害復旧事業の経過	98
(2) 林業専用道整備事業の経過	98
4 林道事業実績	99
(1) 民有林林道改良事業(農山漁村地域整備交付金事業)	99
(2) 民有林林道改良事業(農山漁村地域整備交付金事業)	99
(3) ふるさと林道緊急整備事業	100
(4)-1 単県農山漁村整備事業(小規模林道改良)	100
(4)-2 単県農山漁村整備事業{森林管理道(作業道の復旧)}	100
(4)-3 単県農山漁村整備事業(特認事業)	100
治山	
1 民有林治山事業の推移	102
2 市町別民有林治山事業実績	106
保安林	
1 保安林の種類別面積の推移	110
2 市町別、種類別保安林面積	112
林地開発	
1 林地開発許可状況	114
2 森林保全巡視状況	114
自然保護	
1 緑地環境保全地域指定状況	115
2 自然記念物指定状況	115
鳥獣保護	
1 鳥獣保護区等の状況	116
(1) 鳥獣保護区	116
(2) 特別保護地区	116
(3) 休猟区	116
(4) 特定猟具使用禁止区域(銃器)	116
(5) 狩猟鳥獣の捕獲制限及び猟法の制限区域等	116
(6) 種類別、農林事務所別明細	117
ア 鳥獣保護区	117
イ 特別保護地区	117
ウ 休猟区	117
エ 特定猟具使用禁止区域(銃器)	117
オ 狩猟鳥獣の捕獲制限及び猟法の制限区域	118

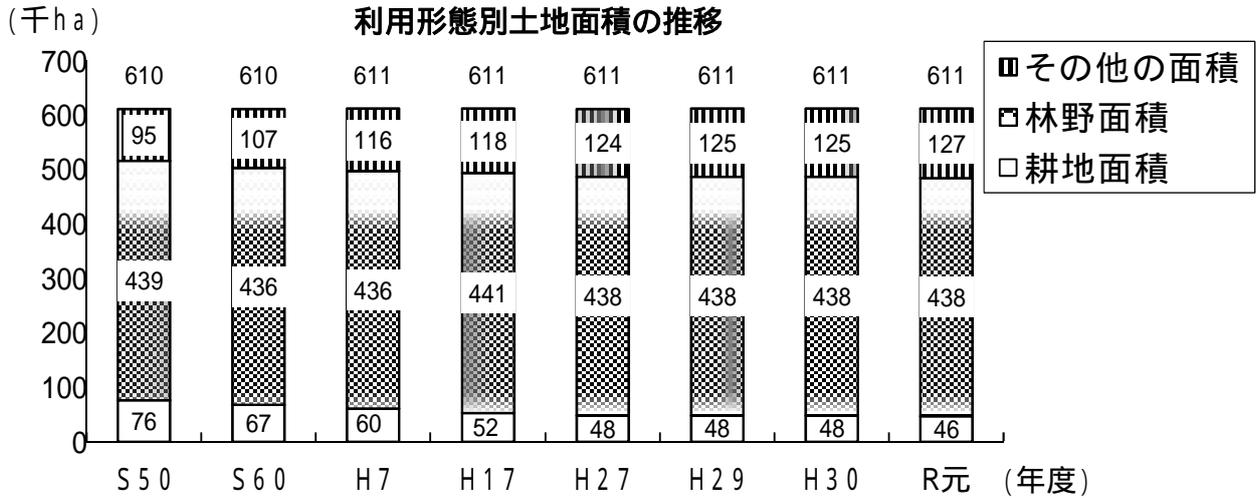
カ 猟区	118
2 狩猟免許等交付状況	118
(1) 狩猟者登録	118
(2) 手数料(再交付を含む)	118
3 狩猟者登録により捕獲された主な鳥獣	119
(1) 鳥類	119
(2) 獣類	119
4 知事等の捕獲許可による捕獲鳥獣	119
(1) 有害鳥獣	119
ア 鳥類	119
イ 獣類	119
(2) 飼養捕獲	120
5 鳥獣飼養状況調	120
6 猟区の成績	120
7 主たる法令違反調	120
自然公園	
1 公園名称別、市町別、種類別面積	121
2 自然公園内施設整備状況	122
(1) 西中国山地国定公園(交付金)	122
研究・研修等	
1 試験研究実績	123
(1) 試験研究課題	123
(2) 試験研究実績の発表	123
2 研修実績	124
3 研究及び事業成果の普及指導状況	124
4 林木育種・緑化事業等実績	125
林務関係行政機構	
1 本庁	126
2 出先	126
3 職員配置状況調	127
令和元年度決算額	128

山口県森林・林業の概要

1. 森林資源の現況

(1) 土地利用 (関連資料P21)

本県の林野面積は、438千haで、総土地面積611千haの72%を占め、林野率は全国平均を上回っている。



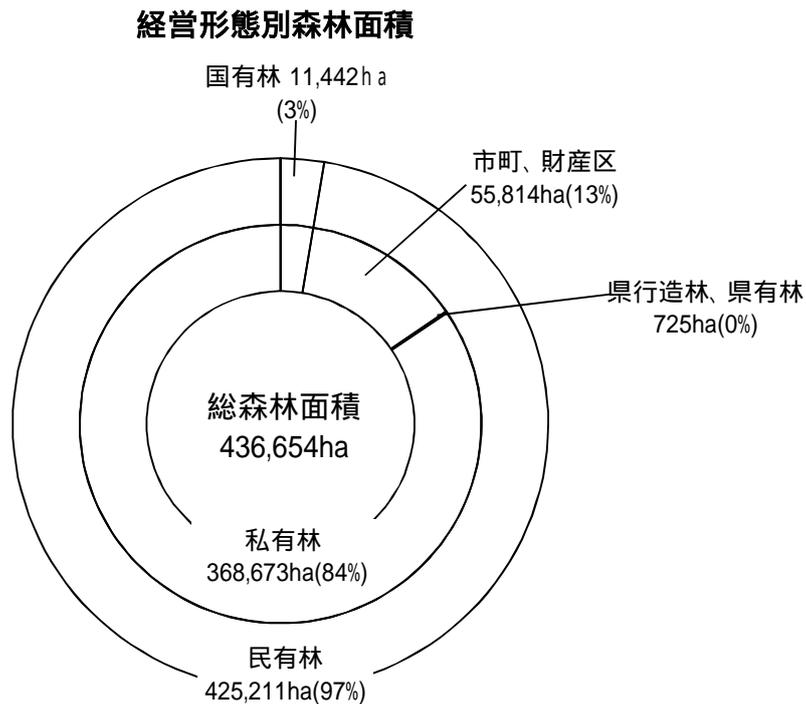
林野面積と林野率

区分	山口県	全国
林野面積	438千ha	24,802千ha
林野率	72%	67%

(資料) 全国は2015年農林業センサス

(2) 経営形態別森林面積 (関連資料P22)

経営形態別は民有林が97%を占め、国有林は3%である。また、私有林は84%を占める。

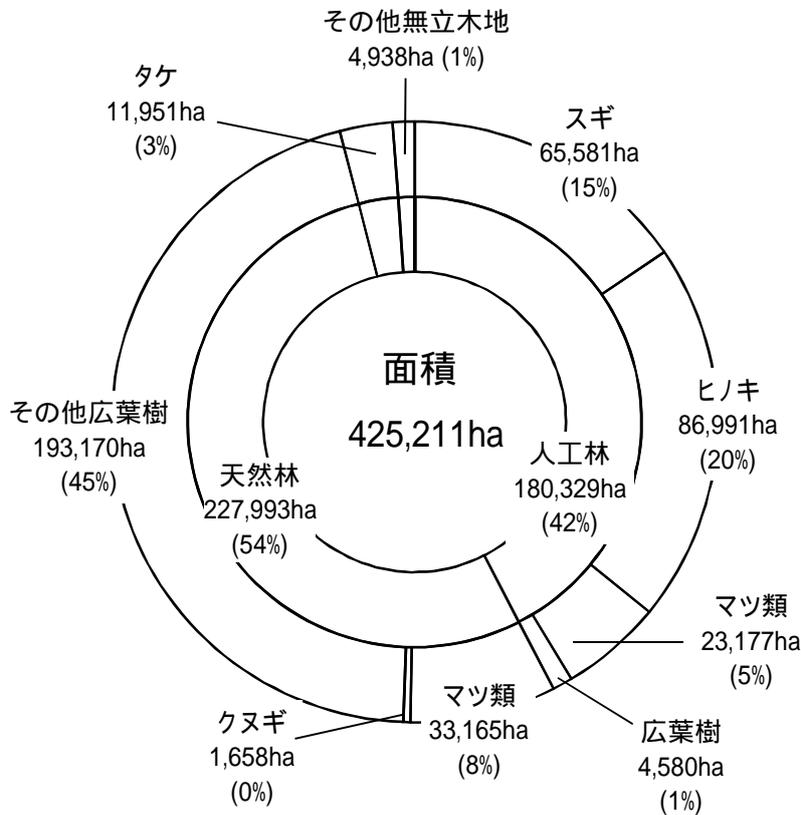


(3) 民有林の樹種別面積と蓄積 (関連資料P24)

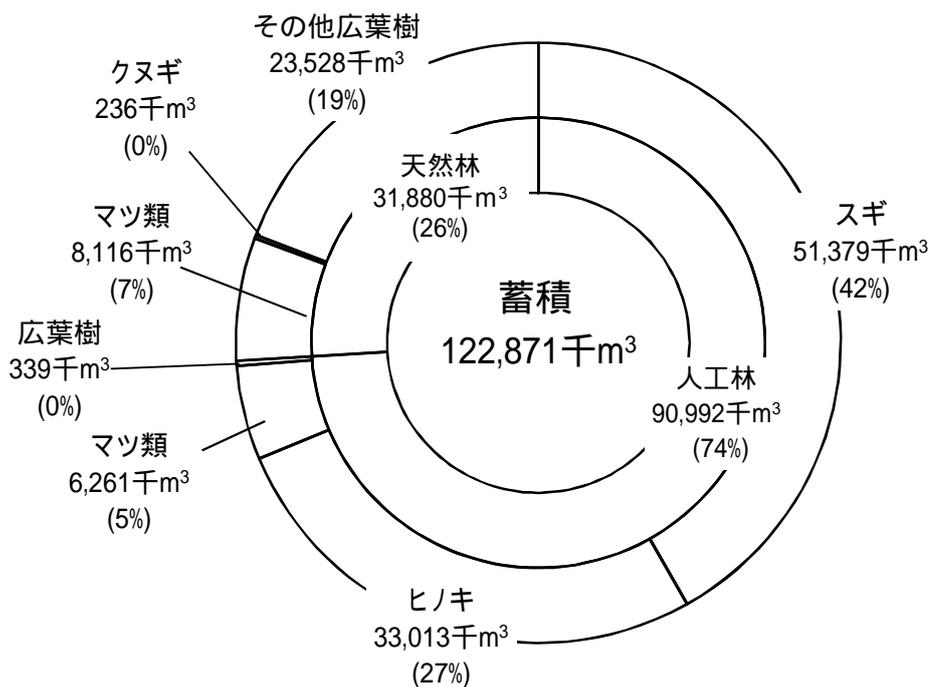
樹種別面積構成は、針葉樹が49%(スギ15%、ヒノキ20%、マツ類13%)、広葉樹47%、竹林等が3%であり、また天然林、人工林比較では、人工林が42%である。

樹種別蓄積構成は針葉樹80%(スギ42%、ヒノキ27%、マツ類12%)、広葉樹20%の割合である。

樹種別森林面積

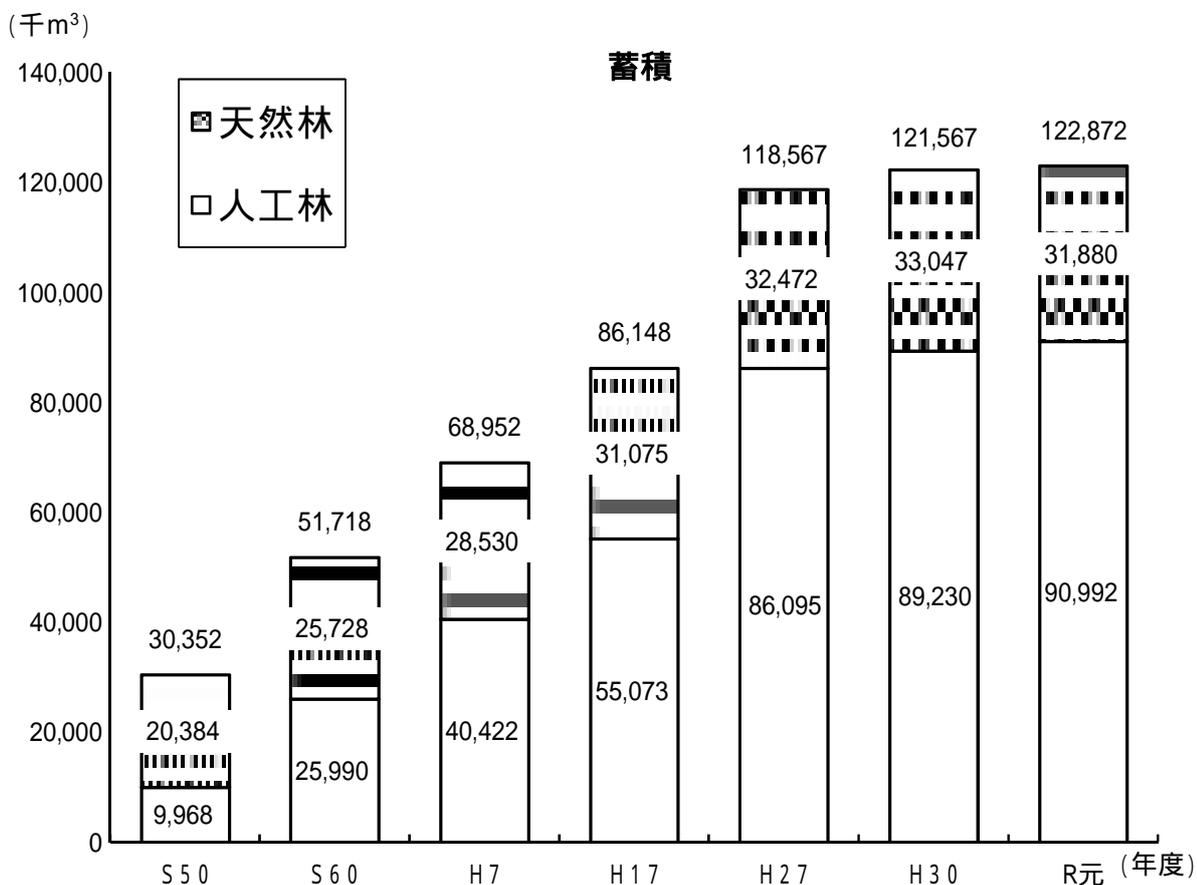
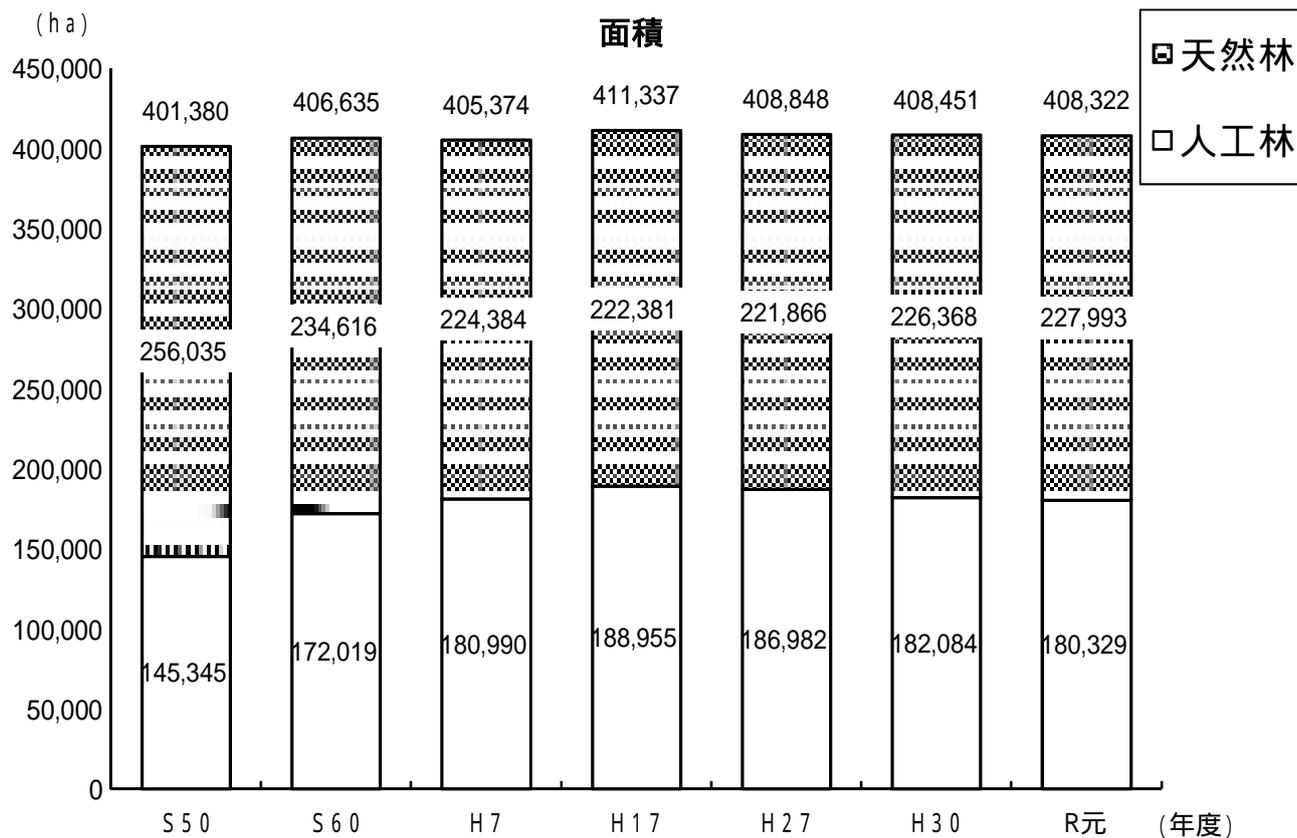


樹種別森林蓄積

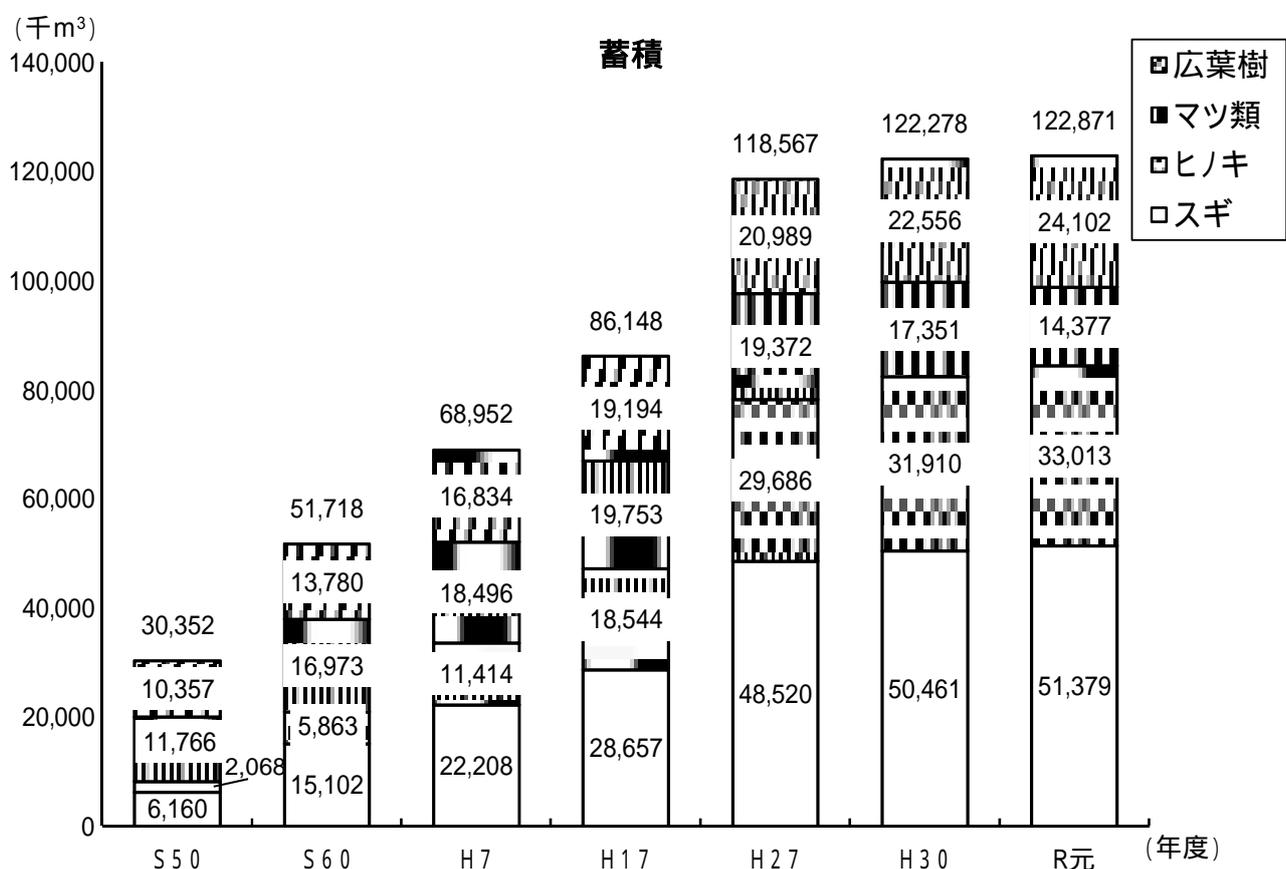
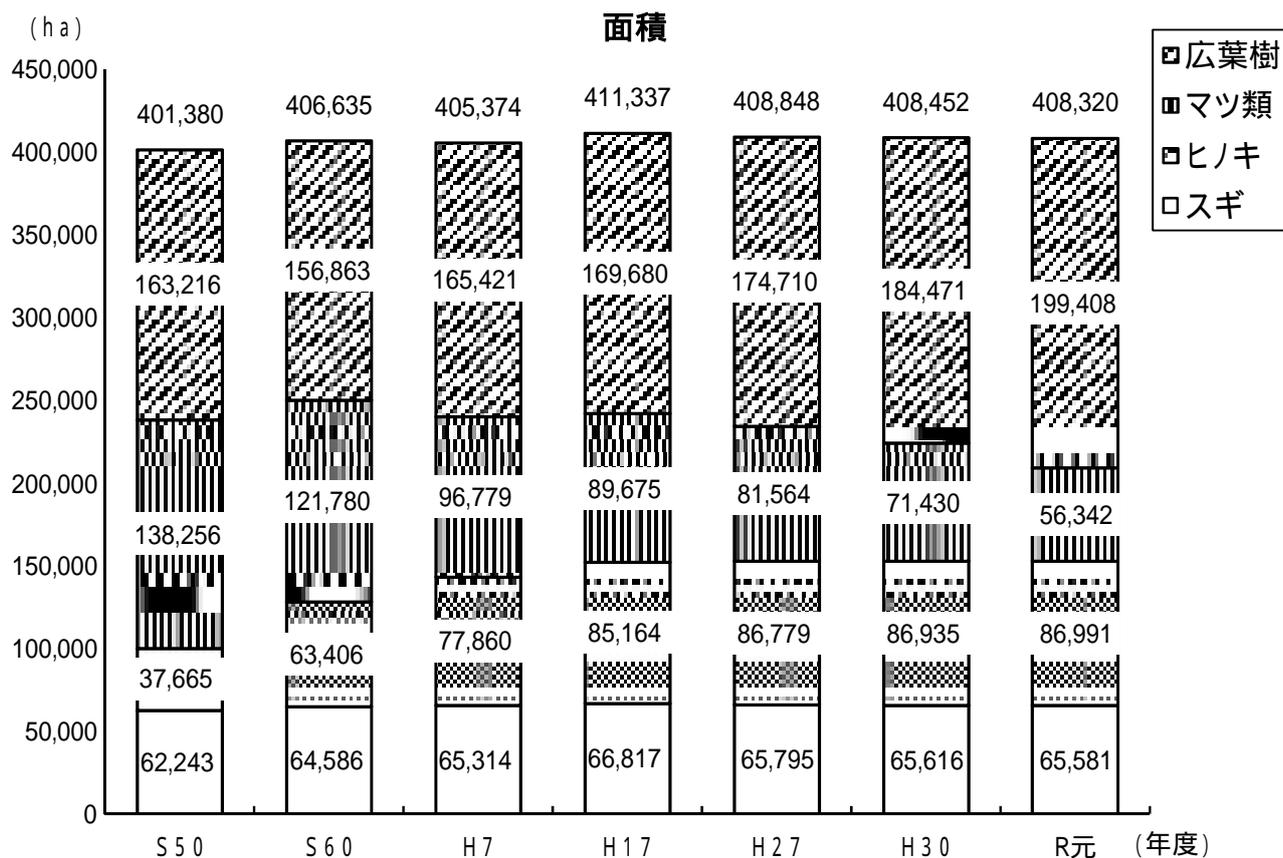


(4) 森林面積と蓄積の推移 (関連資料P24)

ア 人天別森林面積及び蓄積

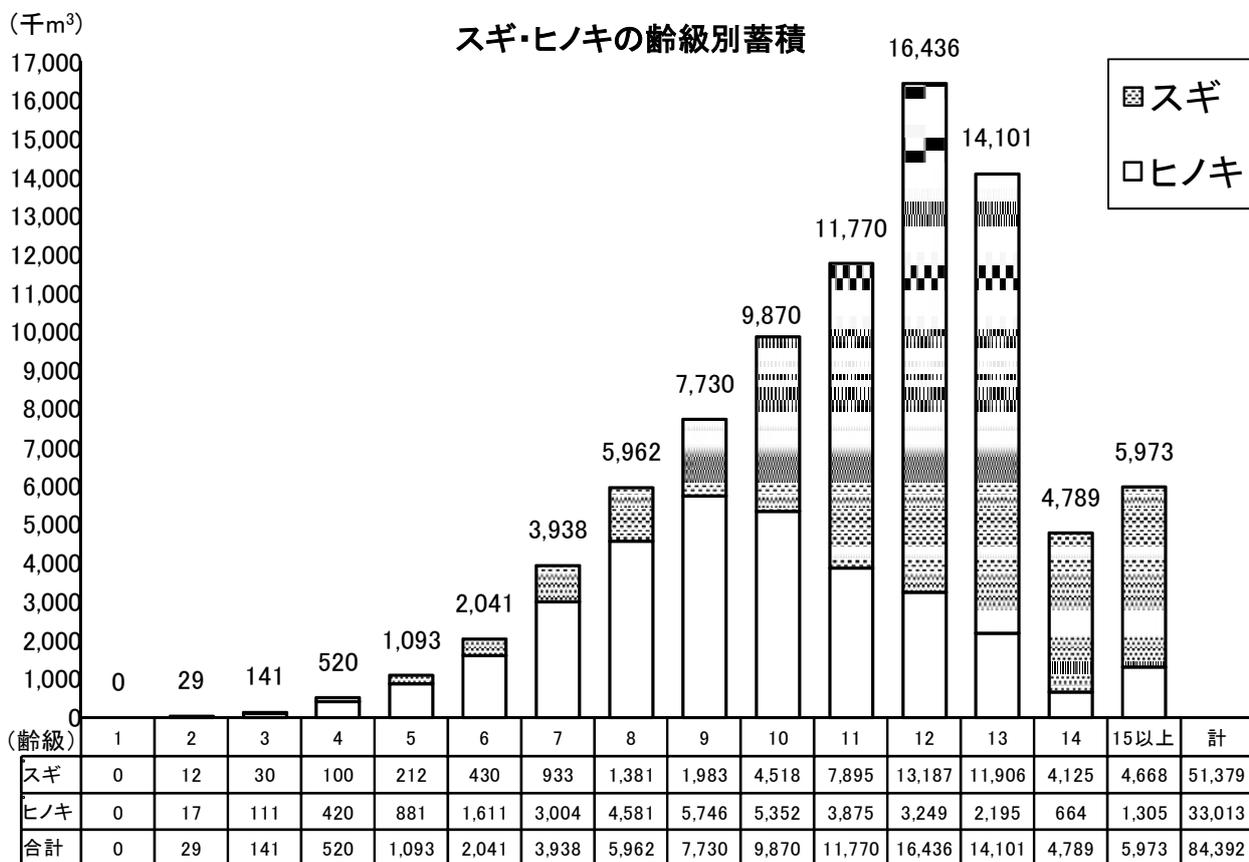
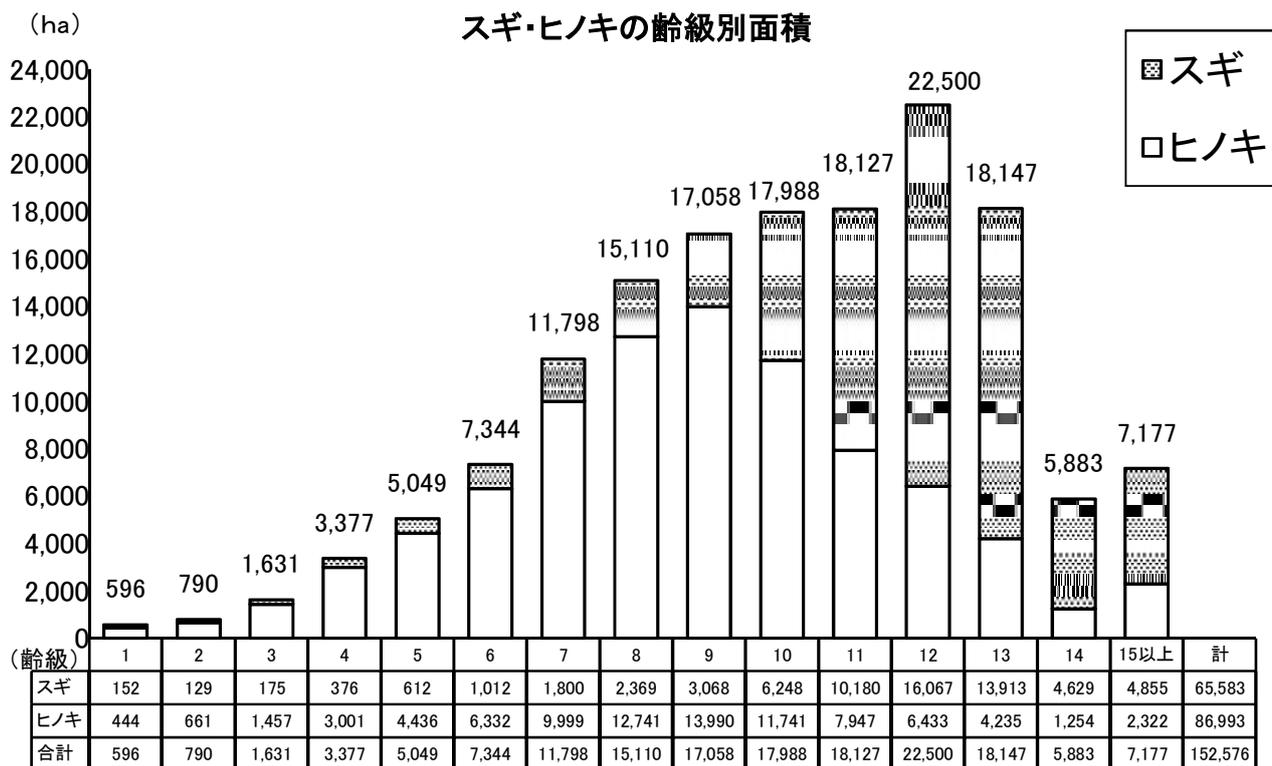


イ 樹種別森林面積及び蓄積



(5) 人工林(スギ・ヒノキ)の齢級構成 (関連資料P28)

人工林(スギ・ヒノキ)の齢級構成は、主伐期を迎えた10齢級(46年生)以上の森林が全体の59%を占めている

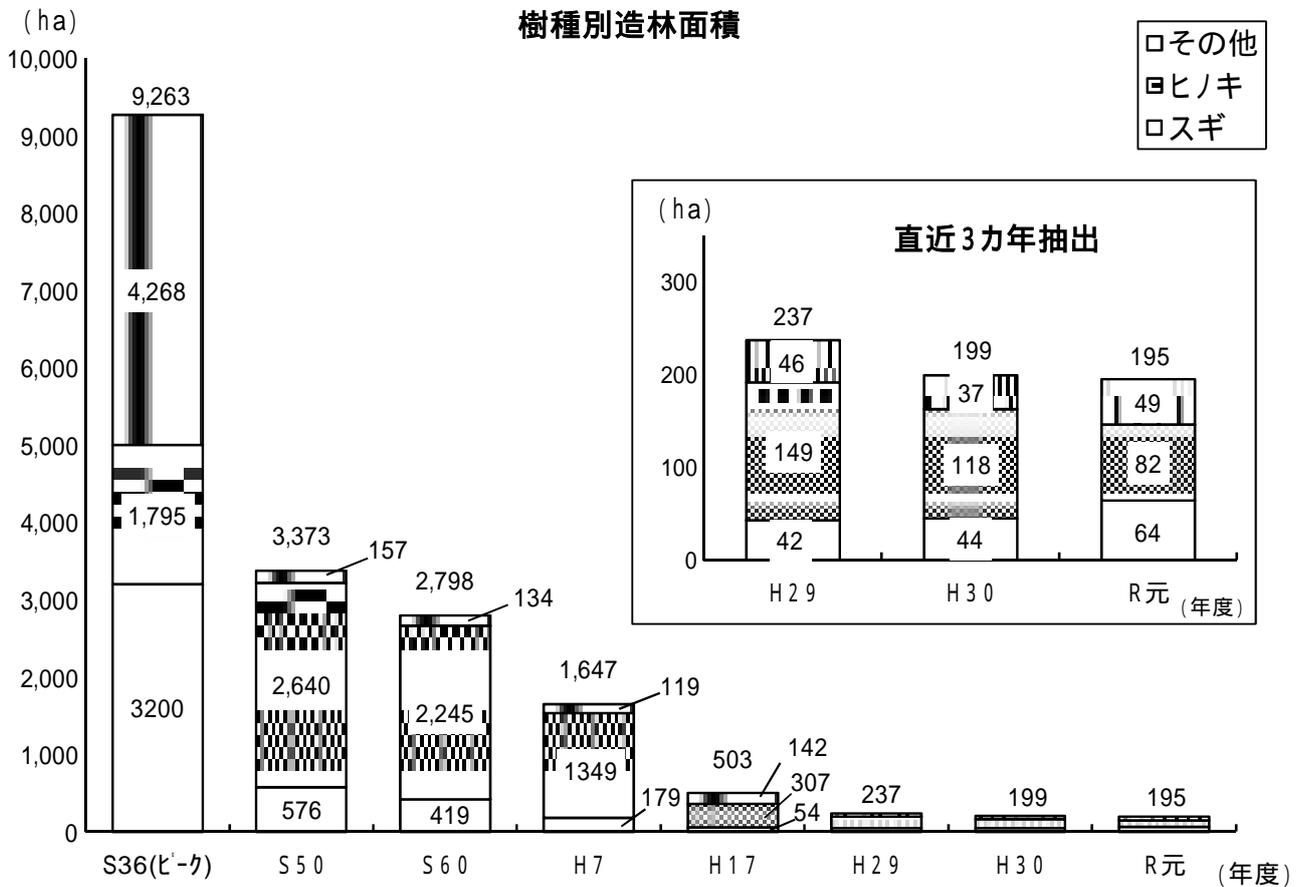


齢級： 林齢を一定の幅にくくったもの。一般に5ヶ年をひとくりにし、林齢1～5年生までを1齢級、6～10年生までを2齢級…と称する。

2. 造林等

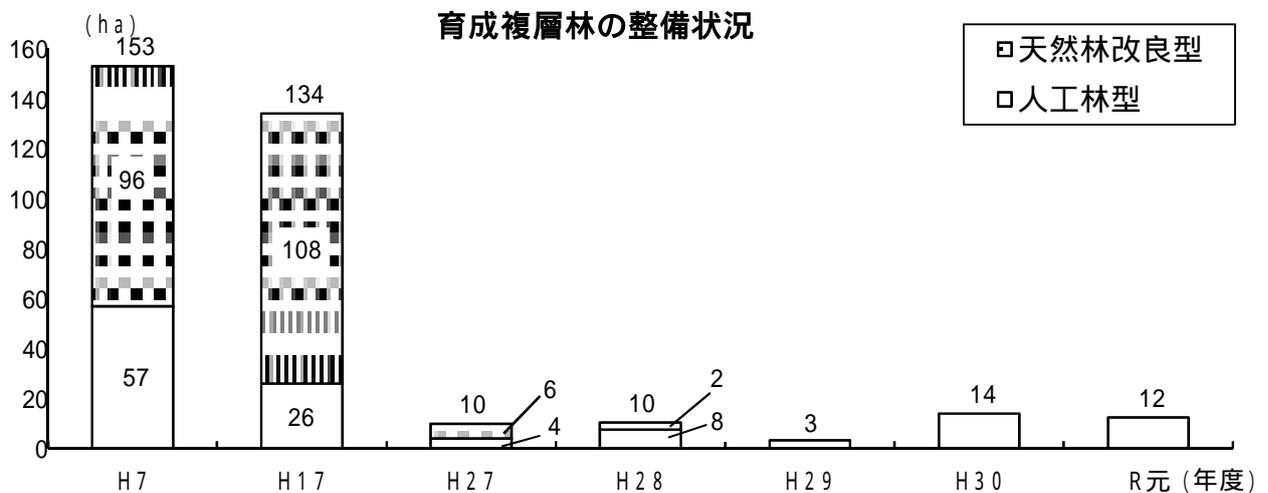
(1) 造林 (関連資料P41)

造林面積は、昭和36年度の9,263haをピークに減少し、近年は横ばいで推移している。造林樹種は、スギ・ヒノキがその主体を占めている。その他の樹種は、昭和52年度までマツが主体であったが、その後は広葉樹が主体となっている。



(2) 育成複層林の整備 (関連資料P50, 51)

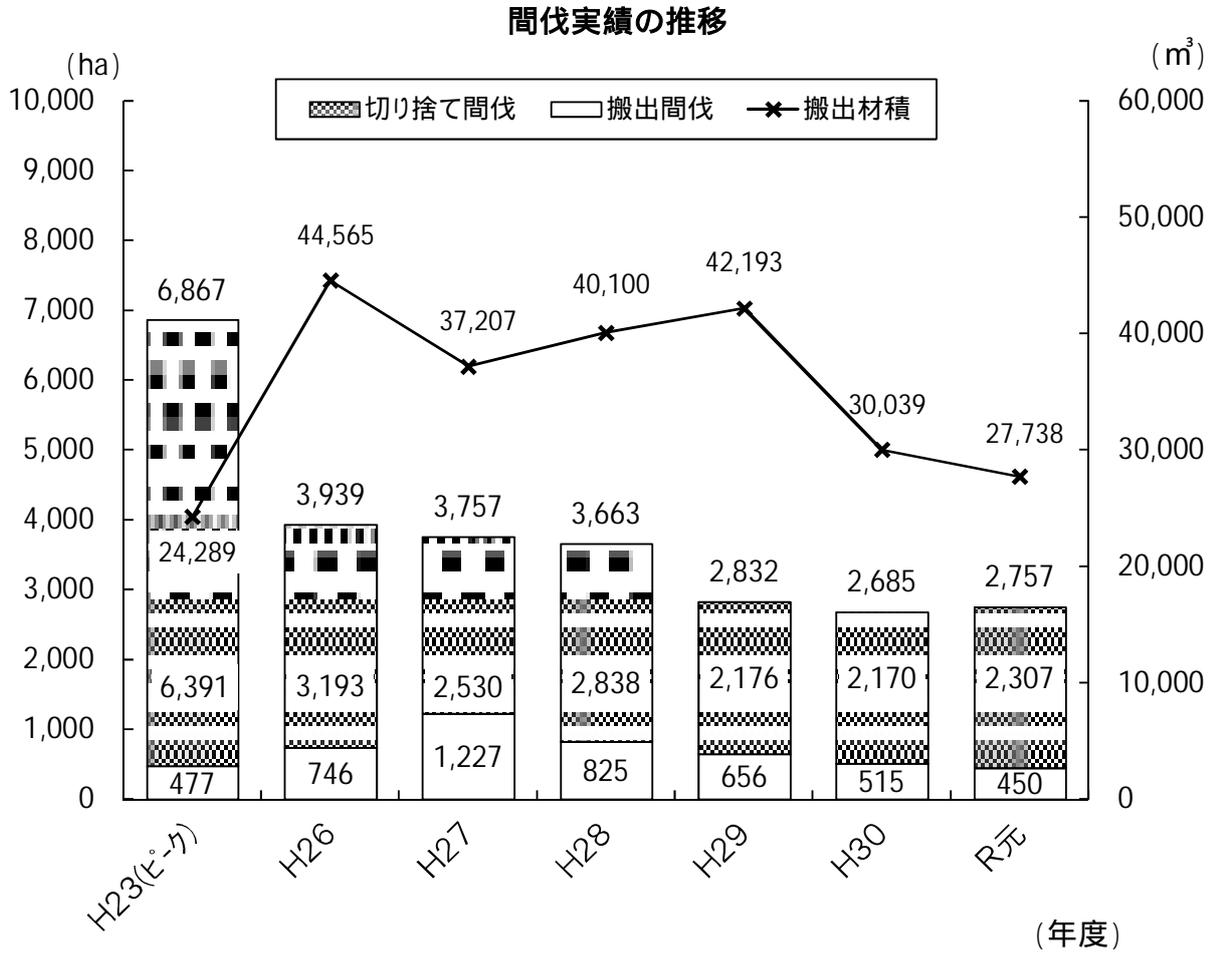
育成複層林の整備は、人工林型と天然林改良型により実施しており、平成27年度頃までは天然林改良型がその多くを占めていたが、それ以降人工林型が主体となっている。



(3) 間伐 (関連資料P56)

スギ・ヒノキの人工林の間伐面積は平成23年度の6,867haをピークに減少傾向で推移している。

令和元年度は約2,757haの間伐を実施している。

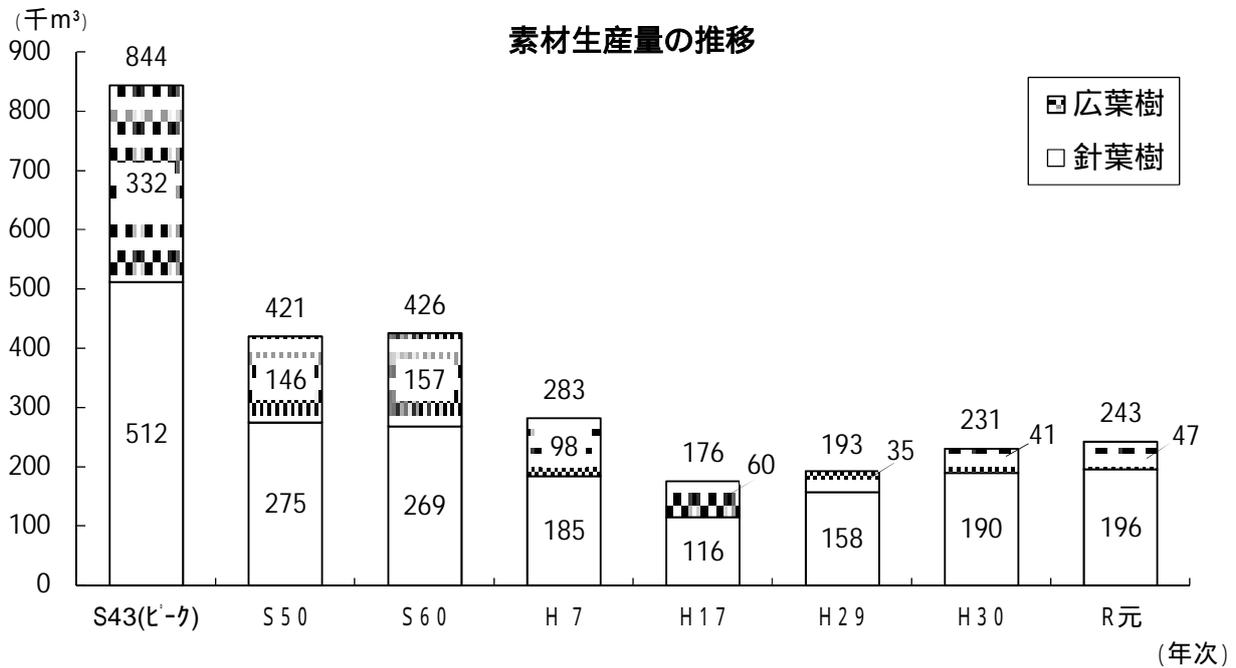


3. 林産物生産

(1) 木材生産 (関連資料P57, 58)

ア 素材生産

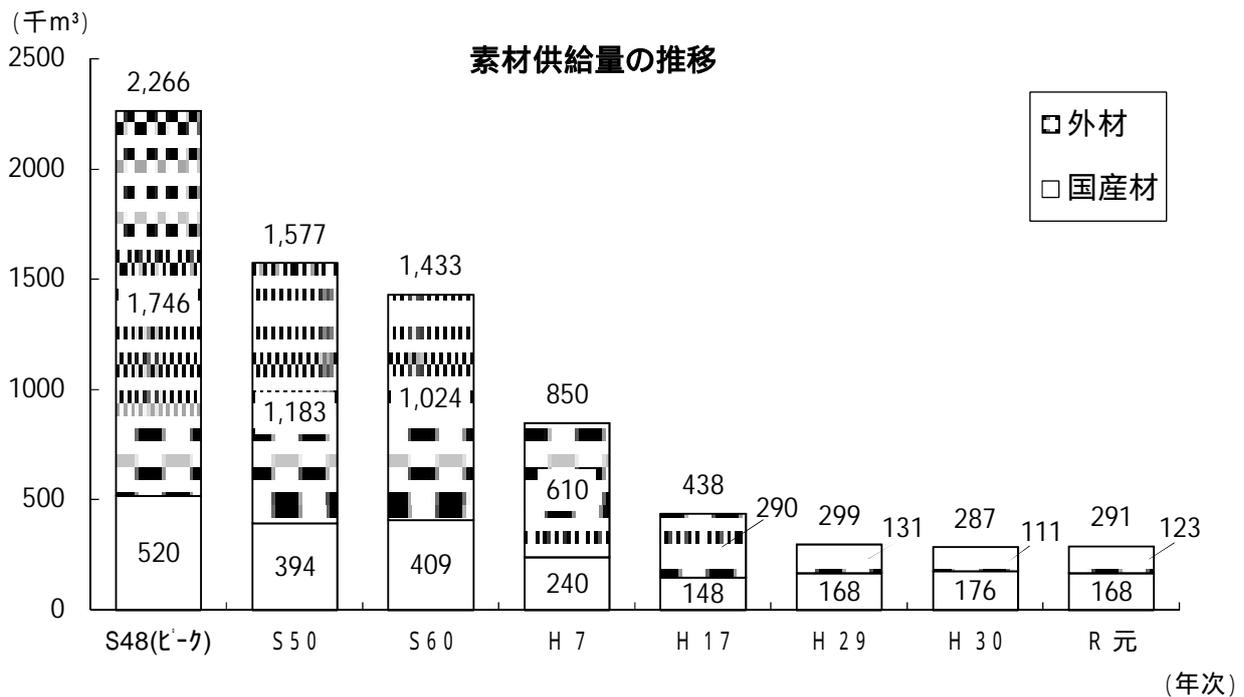
素材生産量は、昭和43年の844千 m^3 をピークに大幅に減少し、近年はピーク時の3割程度で推移している。



イ 素材供給

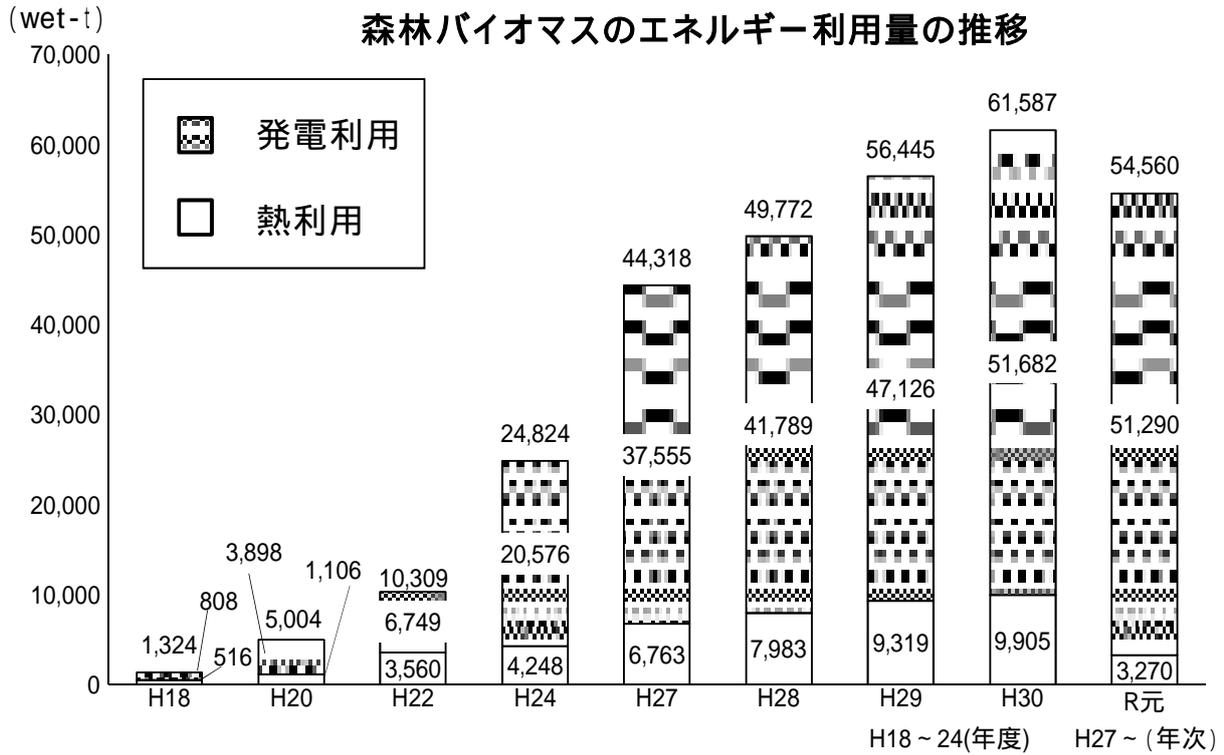
素材供給量は、昭和48年の2,266千 m^3 をピークに大幅に減少し、近年はピーク時の約1割まで減少している。

国産材、外材別では、平成20年までは外材が7割近くを占めていたが、近年、外材輸入量の減少により、平成25年からは国産材の割合が5割を超えている。



(2) 森林バイオマス (関連資料P66)

森林バイオマスのエネルギー利用は、発電利用は増加・横ばい傾向であるが、熱利用は大幅に減少している。

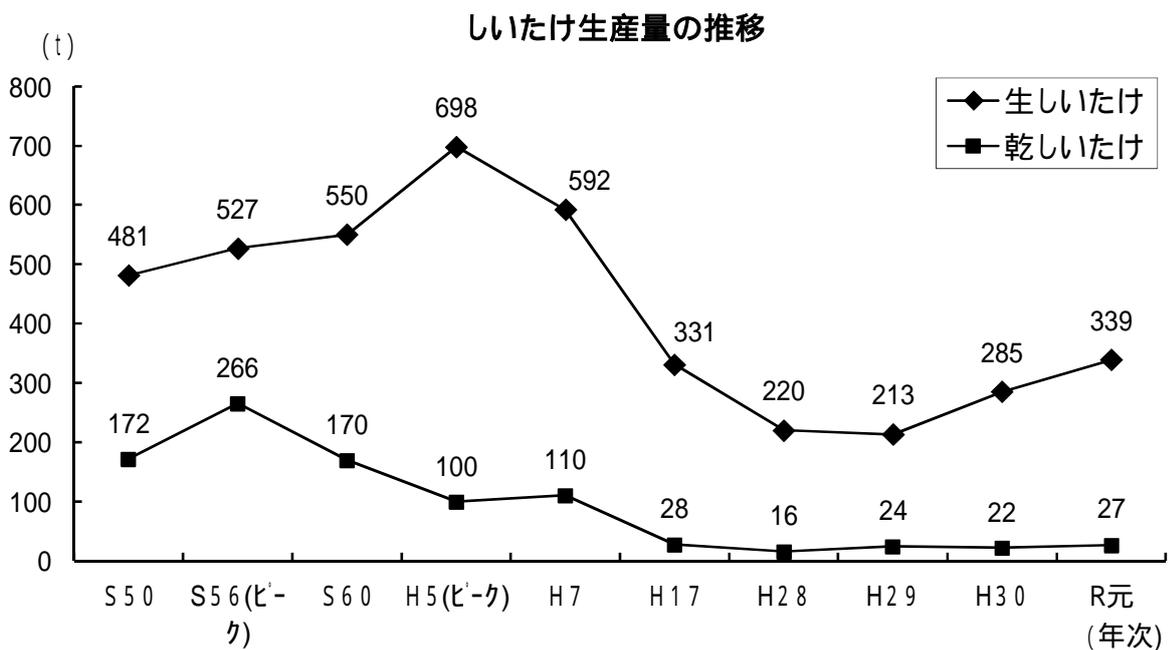


(3) 特用林産 (関連資料P68)

ア しいたけ

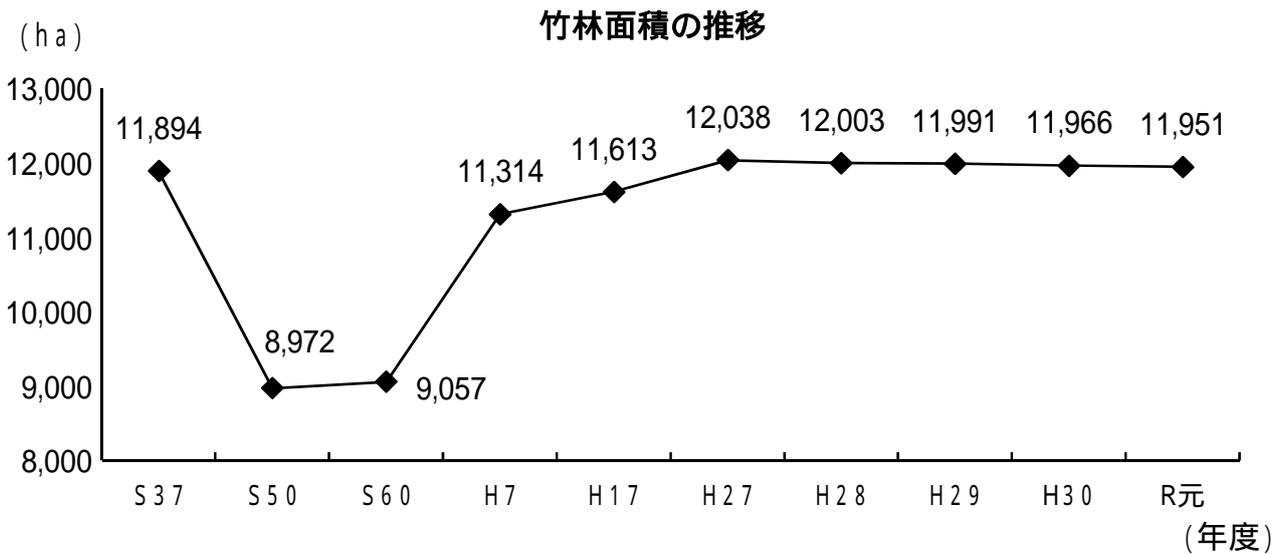
しいたけ生産量は、生しいたけが平成5年の698tを、乾しいたけは昭和56年の266tをピークに、大幅に減少している。

生しいたけはピーク時の5割程度まで減少し、乾しいたけにおいてはピーク時の1割程度まで減少している。

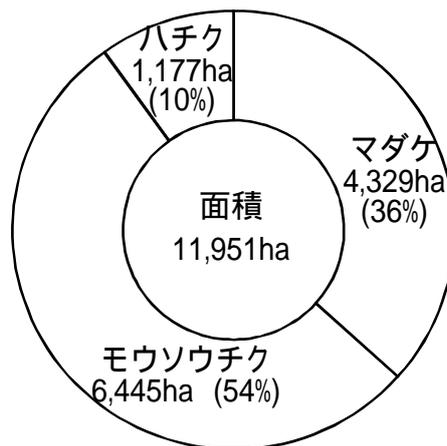


イ 竹林等

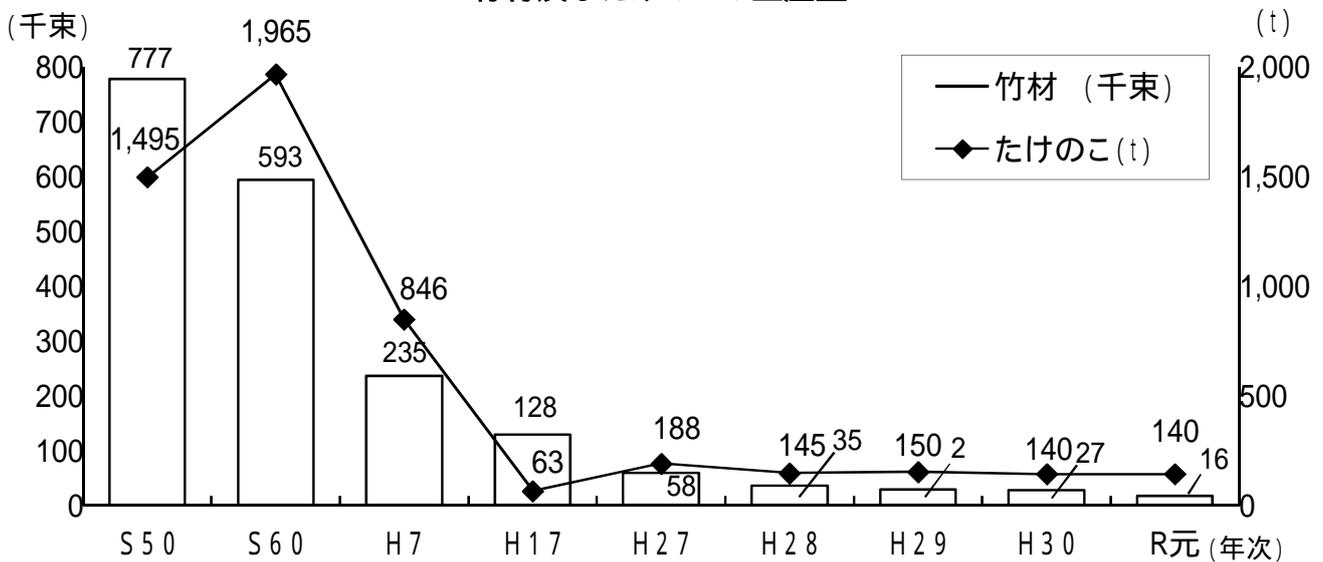
竹林面積は、近年、12,000ha程度で推移している。



種類別竹林面積



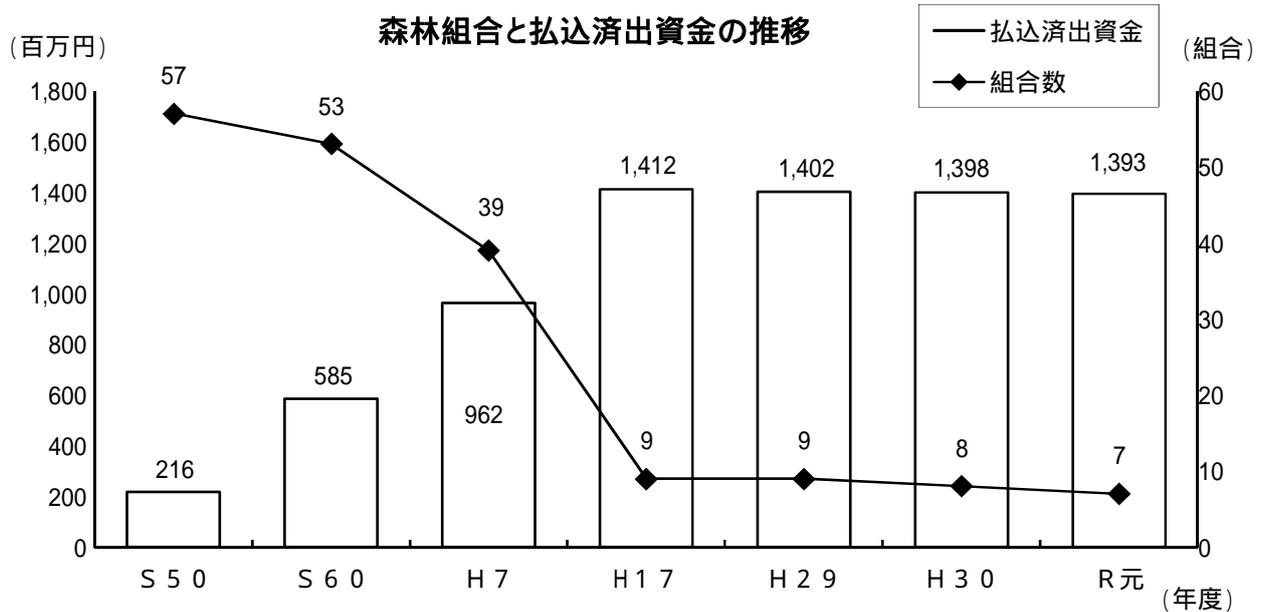
竹材及びたけのこの生産量



4. 森林組合

(1) 森林組合の概況 (関連資料P74, 78)

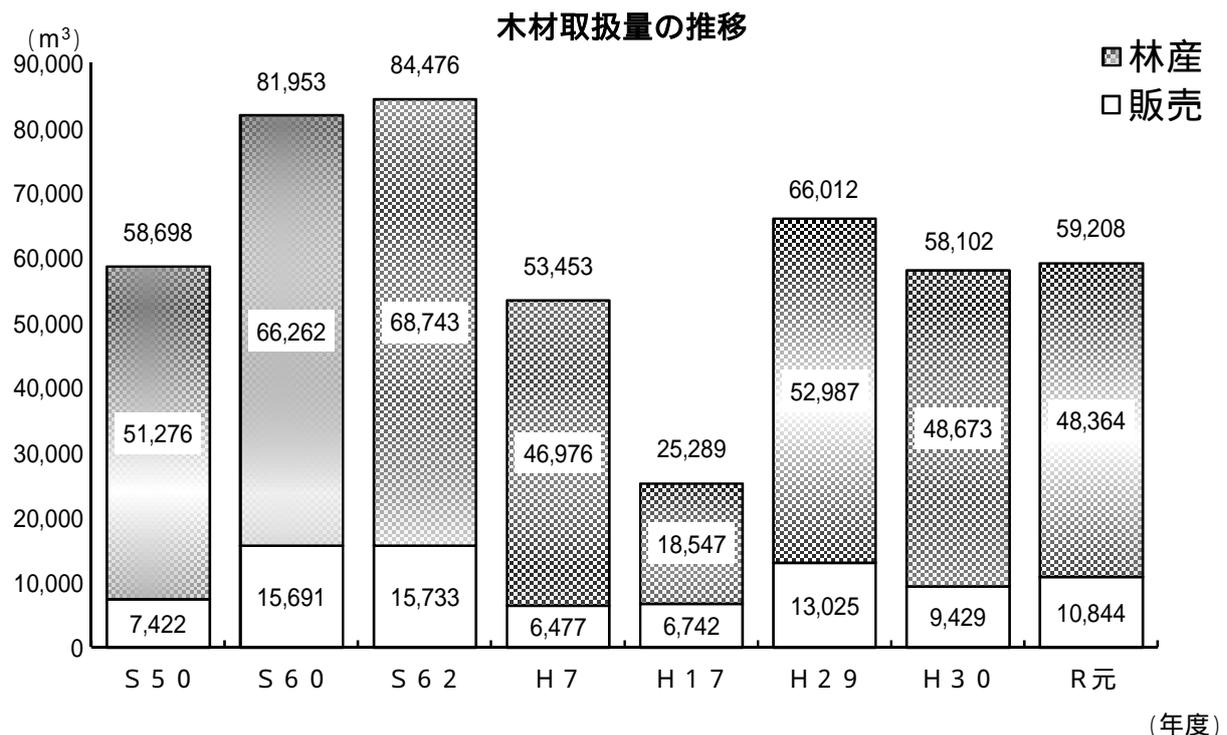
払込済出資金は、ここ数年横ばいで推移している。



区 分	年 度	S50	S60	H7	H17	H29	H30	R元
森林組合数		57	53	39	9	9	8	7
森林組合員数(人)		55,757	56,695	55,529	52,134	50,493	50,255	50,050
組合員森林所有面積(ha)		304,362	309,398	305,228	306,105	297,240	295,079	287,758
払込済出資金(百万円)		216	585	962	1,412	1,402	1,398	1,393

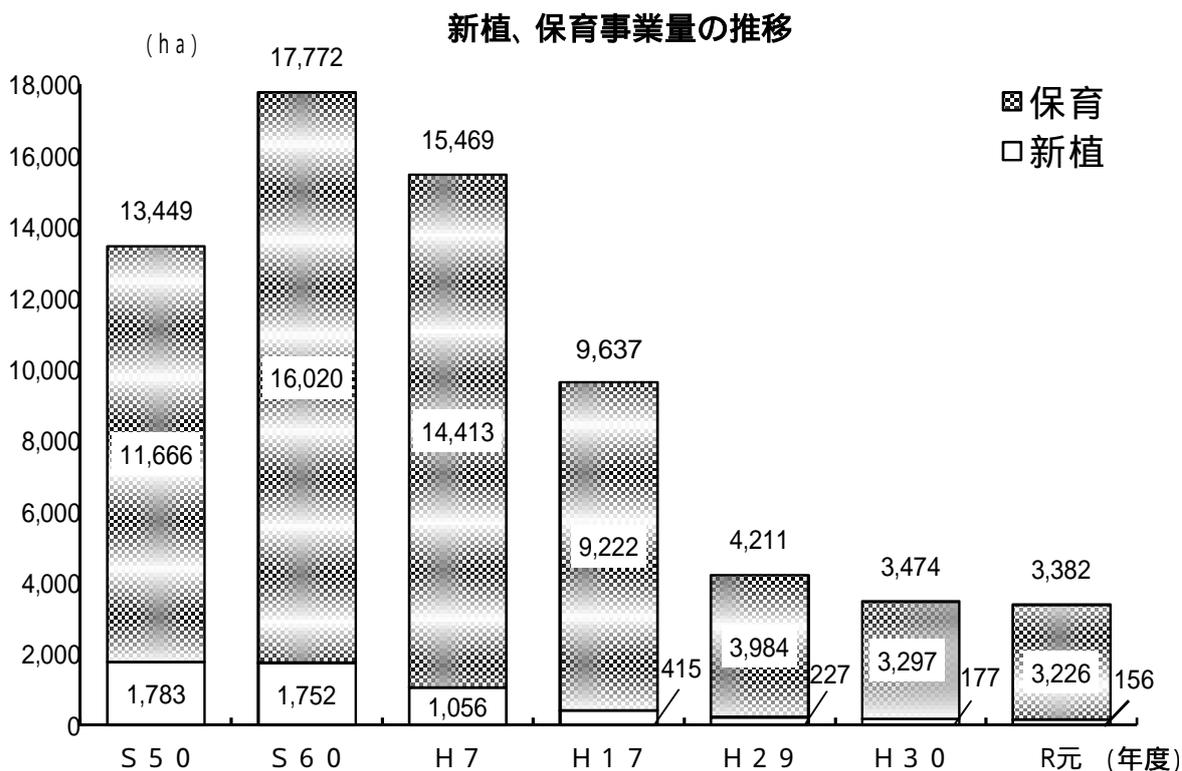
(2) 木材取扱量 (関連資料P76, 79)

木材取扱量は、平成29年度に一旦持ち直したものの、再び減少傾向にある。



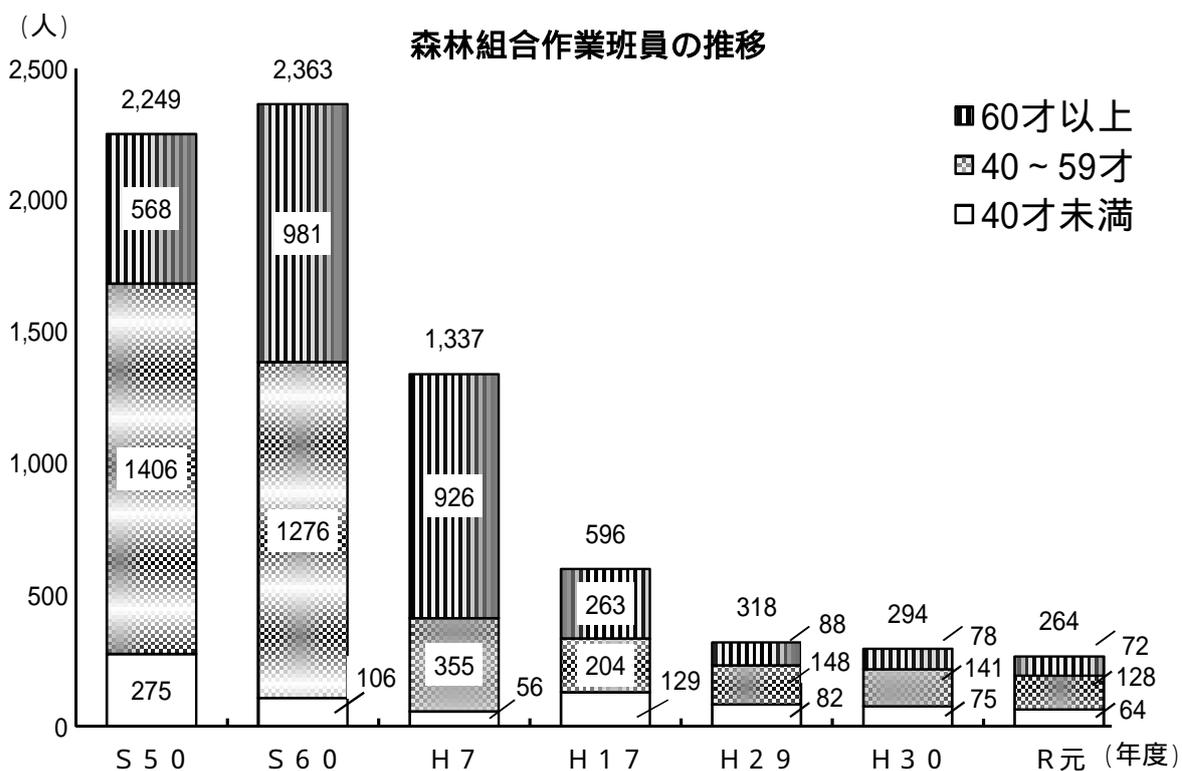
(3) 森林造成事業 (関連資料P76,79)

保育の事業量は、逡減傾向にある。



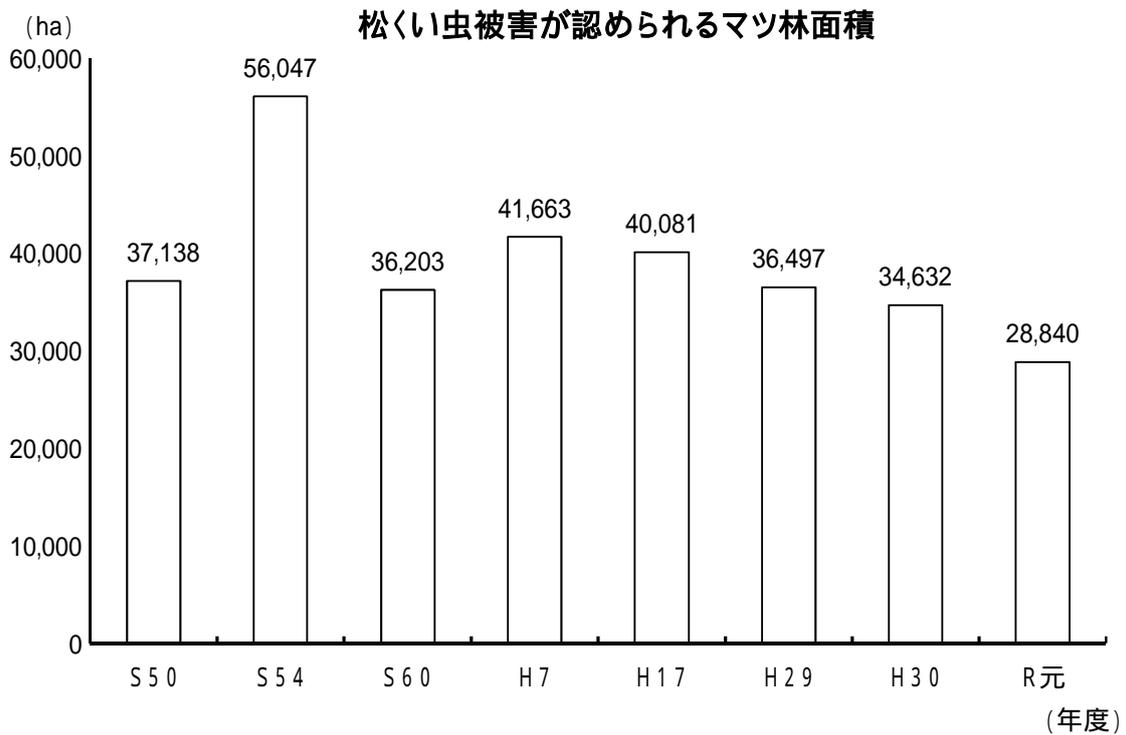
(4) 森林組合作業班 (関連資料P77)

作業班員数は、年々減少している。

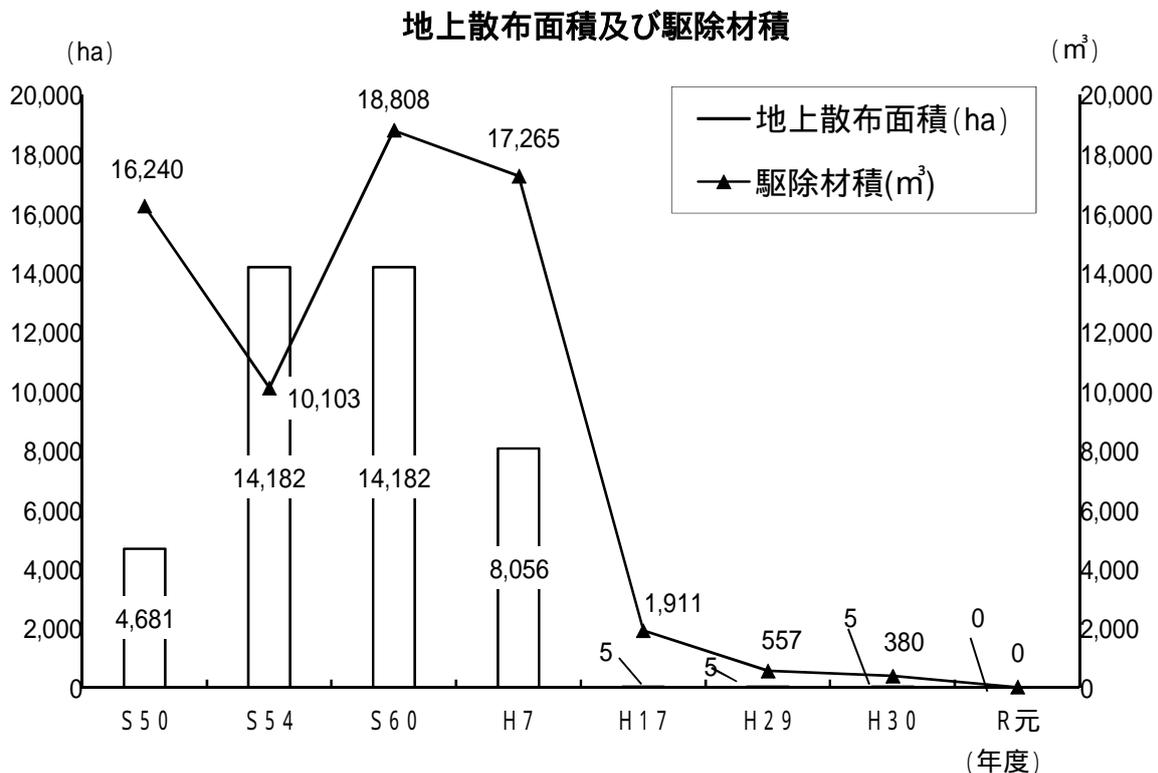


5. 森林被害

(1) 松くい虫被害 (関連資料P84)



(2) 松くい虫防除事業の推移 (関連資料P85)



6. 林業普及

(1) 林業士及び林業作業士の認定状況 (関連資料P89) (人)

区分	指導 林業士	青年 林業士	フォレスト マネー	フォレスト リーダー	フォレスト ワーカー	計
認定者数	77	3	72	36	185	373

作業士の認定者数は事業体支援班資料による。

(2) 主要林業機械の保有状況 (関連資料P90)

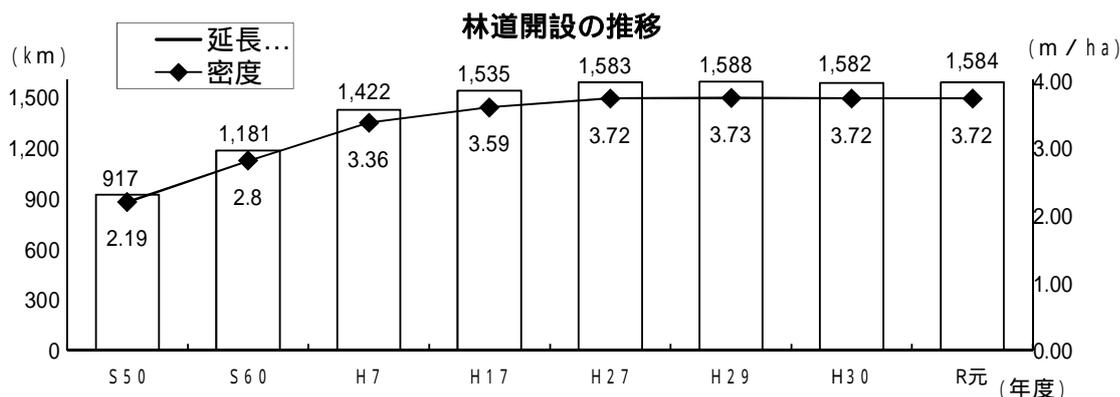
機械種別	年度	S50	S60	H7	H17	H27	H28	H29	H30	R元
プロセッサ		-	-	2	10	11	10	11	11	11
ハーベスタ		-	-	1	1	15	18	21	23	26
フォワーダ		-	-	-	7	23	27	33	42	40
スイングヤード		-	-	-	6	14	14	16	17	18
集材機		649	520	437	282	177	189	176	123	106
運材機		181	359	479	292	227	223	264	164	147
チェーンソー		5,431	12,324	12,029	10,534	5,905	5,788	5,493	4,432	4,108
刈払機		5,448	8,732	11,783	13,074	6,489	6,401	6,157	5,397	3,082

7. 林道等

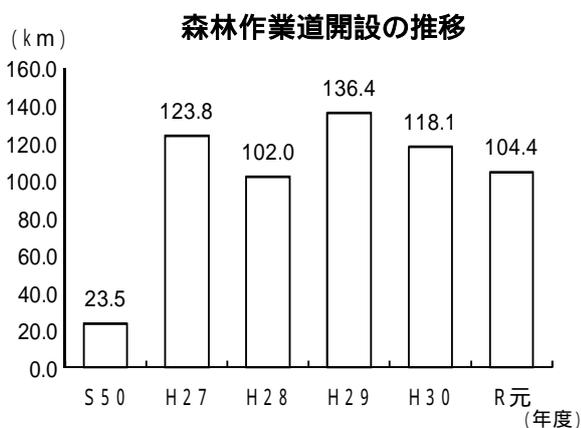
令和元年度は、6路線(延長2.4km)を開設等実施し、総延長は1,584kmとなった。

また、作業道(路)については、104kmが開設された。

(1) 林道 (関連資料P91)



(2) 森林作業道 (関連資料P54)



主要事業別森林作業道開設の推移

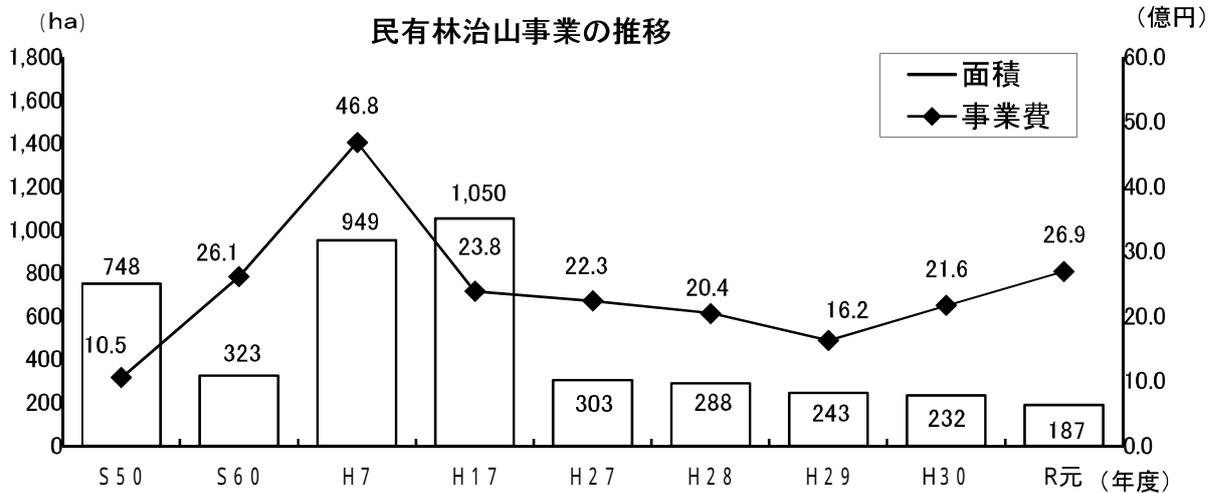
(単位:m)

	造間	林伐	林業構造 改善	特用林産	合計
S50	20,777	1,373	-	1,308	23,458
H27	123,821	-	-	-	123,821
H28	102,013	-	-	-	102,013
H29	136,374	-	-	-	136,374
H30	118,096	-	-	-	118,096
R元	104,438	-	-	-	104,438

8. 治山

(1) 治山事業の推移 (関連資料P102)

治山事業は、森林整備保全事業計画(令和元年度～令和5年度)及びやまぐち農林水産業成長産業化行動計画(平成30年度～令和4年度)に基づき計画的な事業の推進に努めており、平成30年度に発生した災害に対する復旧事業と併せ202箇所(面積187ha、事業費26.9億円)を実施した。



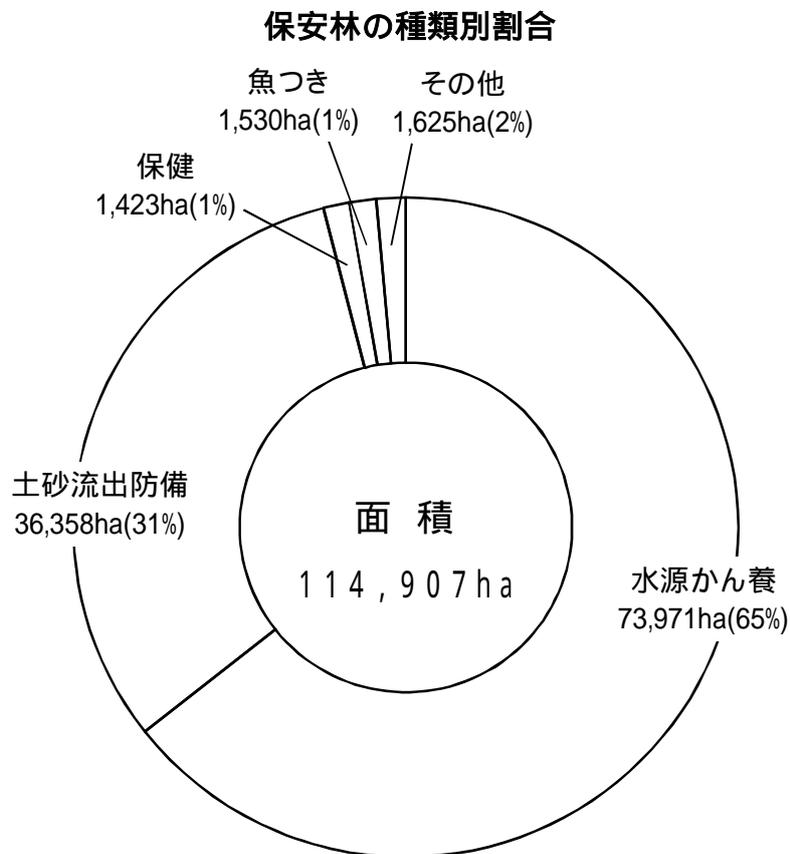
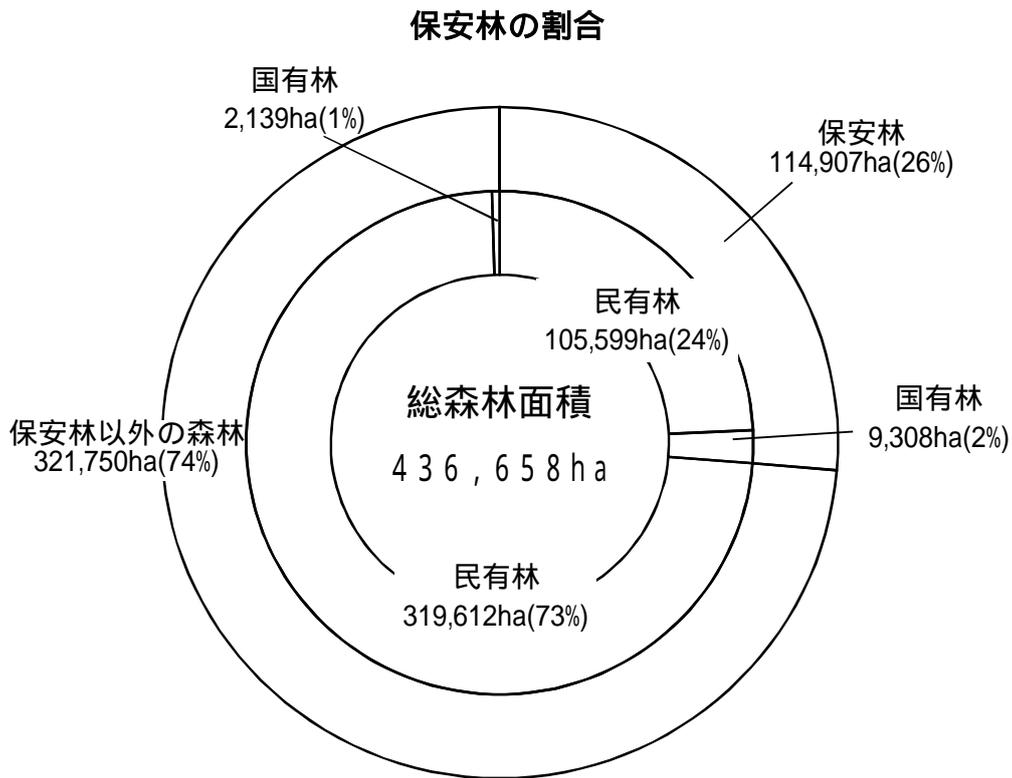
(2) 生活環境保全林 (関連資料 治山林道班資料)

生活環境保全林の概要

地区名	市 町	施行年度	区域面積	地区の愛称
			(ha)	
霜降山	宇 部 市	S47～49	200.00	霜降山市民の森
田床山	萩 市	S50～52	100.00	田床山市民の森
千坊山	光 市	S51～53	120.00	市民の森
太華山	周 南 市	S53～55	40.00	
長野山	周 南 市	S54～56	30.00	長野山緑地公園
天神山	防 府 市	S55～57	16.56	天神山森林公園
国見台	下 関 市	S56～58	62.00	国見台森林公園
菩提寺山	山陽小野田市	S57～59	30.00	菩提寺山市民の森
兄弟山	山 口 市	S58～60	13.00	おとどいやま森林公園
青海島	長 門 市	S59～61	30.00	青海島森林公園
嵩山	周防大島町	S60～62	42.00	長寿の森・嵩山森林公園
琴石山	柳 井 市	S61～63	18.60	琴石山グリーンパーク
笠戸高山	下 松 市	S62～H元	24.00	
烏帽子岳	周 南 市	S63～H2	34.80	烏帽子岳ウッドパーク
永安	岩 国 市	H元～2	8.50	周東町いこいの森
深坂	下 関 市	H元～3	46.10	サンサンフォレスト深坂
八丁峠	萩 市	H元～3	15.00	旭水の森
犬鳴	山 口 市	H2～3	18.50	犬鳴公園
高照寺山	岩 国 市	H2～4	62.00	高照寺山グリーンパーク
大浦岳	下 関 市	H3～4	41.83	大浦岳森林公園
十種ヶ峰	山 口 市	H4～5	29.80	
桜山	美 祢 市	H4～6	28.02	桜山森林公園
塔ヶ森	岩 国 市	H5～7	13.10	塔ヶ森展望公園
青海島	長 門 市	H6～7	10.00	
宇生	萩 市	H7～9	56.70	やすらぎの森宇生
右田ヶ岳	防 府 市	H5～11	492.10	
華山	下 関 市	H8～11	36.80	
高瀬湖	周 南 市	H10～13	24.37	
水尻	長 門 市	H12～14	30.20	いこいの森三隅

9. 保安林 (関連資料P110)

地域森林計画に基づき、計画的な整備に努めている。令和元年度末の保安林面積は、総森林面積の26%である。



10. その他

(1) 地域森林計画樹立状況 (関連資料:地域森林計画書)

(単位:ha)

森林計画区	事務所	計画期間	民有林面積		
			対象森林	対象外森林	計
岩徳	岩国・柳井・周南	平成29年～38年	149,823	482	150,305
萩	萩	平成30年～39年	64,682	3	64,685
豊田	下関・長門	平成31年～40年	72,828	383	73,210
山口	山口・美祢	令和2年～11年	136,812	199	137,011
計			424,144	1,067	425,211

(2) 保有規模別林家数 (関連資料:農林業センサス)

(単位:戸、ha、%)

区分	2000年 (平成12年)		2005年 (平成17年)		2010年 (平成22年)		2015年 (平成27年)		H27/H22 林家数の 増減率	
	林家数	構成比	林家数	構成比	林家数	構成比	林家数	構成比		
総数	33,114	100.0	28,119	100.0	28,366	100.0	26,457	100.0	93	
保有 階 層 別	1～5ha	25,225	76.2	21,268	75.6	21,333	80.6	19,744	74.6	93
	5～20ha	6,889	20.8	5,872	20.9	5,969	22.6	5,667	21.4	95
	20～50ha	836	2.5	792	2.8	833	3.0	808	3.0	97
	50ha以上	164	0.5	187	0.7	231	0.9	238	0.9	103

注:1「林家」とは保有山林面積が1ha以上の世帯をいう。

(3) 森林経営計画の認定状況 (関連資料P33)

区分	件数		面積	
計	116	件	89,490	ha
林班計画	12	件	4,110	ha
区域計画	85	件	13,455	ha
属人計画	19	件	71,925	ha

森林計画区、農林事務所管轄区域図

——	森林計画、流域界
- - - -	農林事務所界
□山口	森林計画、流域名
◎山口	農林事務所名

